

『国連研究』第14号 原稿募集

2012年6月16日

日本国際連合学会 編集委員会

日本国際連合学会 会員のみなさま

『国連研究』第14号（2013年6月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。会員のみなさまからたくさんの応募をいただき、学会誌を通して有意義な議論ができますように願っております。ふるってご応募ください。

1 募集原稿の種類

1) 特集テーマ『「法の支配」の過去・現在・未来』に関連する論文

国際社会において「法の支配」は、国連の創設以来、重要視されてきました。たとえば、人権や人道、経済や環境の分野における国際的な課題の解決に向けた宣言や条約の採択は、国際社会における指針や基準を設定し、国家に対して行動を促しました。また、国連の主要機関である国際司法裁判所や、常設の国際刑事裁判所の設立は、国際法に基づいた紛争の解決を目指します。このように多くの諸国や国連をはじめとする機関が、「法の支配」の創造、執行、監視の領域で活動しています。

さらに現在では、とくに紛争から平和への移行、すなわち紛争後の平和構築の文脈において、正義をどのように追及し、不処罰をなくして和解を進め、良き統治を実現させ、「法の支配」を社会に定着させるかということが議論されるようになりました。

今回の特集テーマに掲げた「法の支配」とは、このようにさまざまな活動を含み、個人の尊厳に価値を置いて社会を広義の平和へと導く基礎をなす概念であり、「法の支配」をめぐる諸問題は、法的視点だけでなく政治的、政策的、歴史的ならびに思想的な視点からも議論されうる広範なテーマです。特集号では、国連ならびに国連と接点を持つ領域における「法の支配」について、過去・現在・未来を射程に入れて議論していきたいと考えています。それぞれの専門領域から積極的な投稿がなされ、学際的な研究と議論に発展することを願っています。

2) 実務家等の視点に基づく政策レビュー

『国連研究』では、研究者による論文に加えて、実務家の方々による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。国連学会は理論と実務をつなぐ学会としての性格を大切にしています。

3) 独立論文

特集テーマとかかわらない書き下ろしの論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。特に、若手研究者による研究発表の場として、投稿を歓迎します。

4) 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

5) 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去 2 年以内に出版された学術書を対象とします。執筆希望（書評対象書を明記）の申し込みの他に、書評対象書（評者を添えてもよい）の推薦も受け付けています。

2 応募方法と締め切り

1) から 4) の論文タイトルおよび論文趣旨（800 字程度）を、2012 年 8 月 12 日（日）までに下記宛でお送りください。また、5) の書評執筆申し込みまたは書評対象書候補の推薦については、2012 年 7 月 31 日（火）までにお願ひします。それぞれ、電子版でご提出ください。

〒 187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1 津田塾大学内
大泉 敬子（『国連研究』編集担当）
E-mail : oizumi@tsuda.ac.jp

3 採否

1) から 4) に関してお送りいただいた論文タイトルと論文趣旨ならびに 5) の書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦を検討し、まず「執筆」の可否を決定してご連絡いたします。

「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11 月 25 日（日）までに完成原稿をご提出ください。提出原稿は、編集委員会が依頼する査読を経たのち、修正が必要な場合には修正をお願いした上で、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

4 応募ならびに完成原稿の提出締め切り日程

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ・ 1) から 4) の論文の応募（論文のタイトルおよび趣旨） | 2012 年 8 月 12 日（日） |
| ・ 書評の執筆申し込みと書評対象書の推薦 | 2012 年 7 月 31 日（火） |
| ・ 完成原稿（特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文、書評） | 2012 年 11 月 25 日（日） |
| ・ 『国連研究』第 14 号発刊予定 | 2013 年 6 月 |

5 執筆要領・編集要領について

2011 年に、執筆要領ならびに編集要領が改訂されました。ホームページに掲載されていますのでご覧ください。ここでは、「執筆上の一般的注意」の概要のみを記載します。

【原稿】

- ・ 筆者オリジナルの書き下ろしのものとする。
- ・ 原稿は和文もしくは英文による。
- ・ 書評論文と書評を除き、原稿には英文サマリーを添える。
- ・ 原稿はワードファイルで編集主任へ送付する。

【原稿字数】

- ・ 書評と書評論文以外は、注と図表を含めて 20,000 字以内とし、横書きとする。
 - ・ 書評論文は、注を含めて 10,000 字以内とする。
 - ・ 書評は、4,000 字以内とし、注は付けない。
- (以上)